



つゝじヶ丘だより東京

つゝじヶ丘同窓会東京支部会報



発行 函館西高等学校つゝじヶ丘同窓会東京支部 会長 新谷 義克
〒136-0072 東京都江東区大島 8-41-15-215 TEL&FAX 03-5609-9881
メールアドレス <jimu@td-tokyo.com>
印刷所 株式会社 サンビプロダクトセンター・題字 細見 紀子(西高14回生)

ホームページURL; <http://www.td-tokyo.com>

会長挨拶

「検診のすすめ」

会長 新谷義克
(西高1回生)



同窓会の皆様いかがお過ごしですか。

東京支部事務局も近年幹事さん

方の努力でホームページの立ち上げ等機能的に大分充実してきました。会員だよりも随時更新しております。いろいろなニュースがあります。したら載せたいと思いますので是非ご連絡ください。

今年は5月21日目白の椿山荘で総会が開催されます。会員同士誘い合い出席され盛大に行なわれるようご協力いただきたいと思います。さて、私は医師の仕事に就いて50年になりますが、今回は検診のすすめについて書いてみます。

われわれ人間は突発的な事件に巻き込まれたり、交通事故等で命を失ったりする以外は、生まれたときから(正確に言えば受精したときから)遺伝子のプログラムで大体の寿命が決まっているようです。その後生まれてからの環境条件や食事習慣等の後天的な影響を受け、その総

合として、その人なりの人生(生命)を全うするのです。ご存知のように医学の発達により、いわゆる難病といわれる遺伝子の異常による疾患では、大体何歳で発病し何年ぐらいで死亡するかがわかるようになりましたが、胎内、あるいは出生してからわかっていても治療方法がありませんので、その対応は生命倫理上でもいろいろ難しい問題をわれわれに投げかけています。癌もやはり遺伝的要素が認められるものがあります。このような有難くない遺伝子的要因は、ご先祖さまからの贈り物で本人の責任ではなく仕方なく甘受せざるを得ません。

しかし、現在早期発見が困難で症状の出たときには手遅れの癌もありますが、最もポピュラーな肺、乳腺、胃、腸、子宮等の癌は早期であれば完治できる時代に入っています。癌予防の何か条等にあるように発癌のイニシエーターとなるものやプロモーターとなる因子をできるだけ排除することや、よしんば癌ができたとしても、検診等での早期発見につなげることは全く本人の責任です。これは現代死因上位を占める脳血管障害や心筋障害についても同様です。

そのような意味でも年1回の職場検診を含む身体の総合的なチェックは是非行なってください。人間病気で生きながらえているより健康で長寿が一番の幸せです。会員の皆様のご健勝を願っております。

メルマガ会員募集のご案内

函館西高つゝじヶ丘同窓会東京支部では、メルマガ会員を募集しています。

メルマガ会員の皆様には、「会員だより」や「事務局トピックス」などの最新情報をタイムリーにお送する予定です。

メルマガ登録方法

メルマガ会員に登録希望の方は、次の方法で登録をお願いします。

1. パソコンから登録の場合 メール

アドレス (regist@td-tokyo.com)

へ空メールを送信する。

2. 携帯電話から登録の場合

左記のQRコードを読み取り、空メールを送信する。



QRコードには、次の内容が記録されています。

「(regist@td-tokyo.com) 西高同窓会東京支部メルマガ登録用メールアドレス」

☆ ☆ ☆

【母校便り 特別寄稿】

『函館の空気』

前函館西高等学校校長 石原卓典



東京支部の皆様におかれましては、いつも母校を見守っていただき感謝

申し上げます。

さて、昨年は函館奉行所の復元、海が見える競馬場の改修、東北新幹線の青森開通もあり函館を訪れる人が増え、中でもアジアからの旅行者が急増したと感じました。また、函館市民そして母校にとって記憶に深く刻まれる年になりました。西高18回生、故佐藤泰志の小説「海炭市叙景」が文庫として全国の書店に並んだのです。市民が映画「海炭市叙景」の制作実行委員会を立ち上げ、賛同者を募りながら次第に大きな渦となつて、とうとう全国上映を成し遂げたばかりか、これまで入手が困難だった彼の著作の文庫化が実現したのです。佐藤泰志を知る方々

の強い絆がその原動力であったことは間違いありません。現役の西高生や教職員にとっても勇気が湧いてくる出来事でした。

次に母校の様子をお話します。我が生徒会は地域の人を交えたシンポジウムや各校生徒会執行部の交流会を開催するなど地域や他校との連携に前向きです。また、部活動では陸上競技部が全国大会に連続出場し、美術部も今年度の全国大会出場を決めました。

一方で、少子化の影響もあり来年度の1学年は4学級となります。今の生徒600名が3年後には480名となるのが決定しています。生徒減少の影響を最小限に留めながら母校の特色づくりを進めているところです。その際、私の頼りになる参考書が母校100周年記念誌「この坂から」です。記念誌編集に携わった方々の熱意に感服しながら、母校の歴史や人物伝そして同窓生の思いを読み返す内に私の脳裏に浮かんだのが、函館港と函館山に囲まれてできた街の空気が西高生の志を育んだということです。

私は子供達にも先輩たちが吸った空気を感じて欲しいと思います。そのため、昨年はじめたのが「西高+α授業」です。函館に縁のある方々や西高の先輩ならではの切り口で、現在の子ども達が抱く漠然とした不安を吹き飛ばし、元気になる授業です。7回実施しましたが生徒の表情に明るさが戻るのを毎回感

じます。この授業を継続させるため、同窓会の皆様のご理解とご協力を大いに期待しております。

最後になりますが、母校の様子をお知らせしたいと函館西高のWebページの担当者が奮闘しています。同窓会と高校生との新しいつながりが生まれる可能性に期待し、担当者への励ましやご支援も是非お願いいたします。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

東京支部活動報告

事務局長 高橋順吉

(西高17回生)

今回の報告内容の特徴は、会則の見直しです。昨年(平成22年)10月24日(日)に開催された学年幹事会(各学年代表者)に於いて会則見直し案の検討をお願いしたところ、慎重派の意見もありました反面「ボランティア活動による同窓会運営が基本の活動について、規制が厳しすぎないか」との意見がありました。これらの貴重なご意見を参考に、今後のつゝじヶ丘同窓会東京支部をより活発でおおらかな会にしたいと思っています。

会員皆様の年会費へのご協力には感謝しております。数年前までは

総会開催時に頂いた会費だけで同窓会を運営していましたが、年会費のおかげで今の活動が成り立っています。

当時の活動を振り返って、もし年会費制度を採用していなければ今頃どうなっていたかを思えば、これからも年会費を大切にに使わせて頂くことが、年会費を納めてくれる会員の皆様への恩返しになると実感しています。

今後とも会員の皆様のご期待にしっかりと答えるような事務局活動を心がけたいと思います。宜しくお願い致します。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇

第13回総会後の東京支部活動記録
(H21.6.14~H23.4.30)

学年幹事会 1回(H22.10.24)
常任幹事会 3回
事務局会議 16回(内他会議と併会4回)
会報編集会議・案内状等発送 6回
同窓会本部・他支部同窓会出席 3回
他校東京支部同窓会出席 7回
その他(会場下見、HP勉強会等) 3回

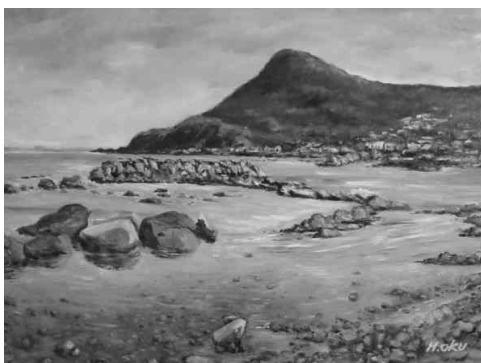
三八会会長奥村君を偲んで

齊藤 勝美(13 回生)

我々 13 回生は、昭和 38 年卒業にちなみ同期会の名称を三八会（サンパチ会）と名付け、故奥村浩之会長のもとで、4 年毎の行事を続けてまいりました。当初還暦で終止符のつもりが、70 歳までやろうと話をしていた矢先に昨年 11 月 6 日帰らぬ人となってしまいました。（脳内出血享年 66 歳）

彼は高校卒業後雪印乳業に入社し、30 歳から七飯町の議員を続けており、この 4 月には最後の選挙に出るべく準備の最中でありました。非常に多才な人で、絵画はプロとして個展等を開催し、1992 年には自費出版で推理小説「石畳の坂」(函館西高 3 年 3 組殺人事件)を刊行致しました。

また、彼の西高へ掛ける熱い思い



は並々ならぬものでした。百周年記念「この坂から」の編集長を引き受け、あの立派な記念誌を作りました。また現在の西高玄関前の記念モニュメントは彼のデザインによるものであります。多くの思い出と共に我々の胸に残っていくことでしよう。

平成 20 年に東京支部主催の三八会修学旅行（日光一泊）がありました。この席で古希まで 2 年毎 3 回の同期会を開催する目標が決まり、昨年 10 月に湯の川「はなびし」にて（84 名参加）1 回目が開催されました。夜遅くまで全てを仕切ってくれた姿と全員に送ってくれたすばらしい写真集が最後の思い出であります。

東京三八会が現在あるのは彼の功績のお陰であります。心より感謝もうしあげ、彼がこよなく愛した函館の住吉漁港、入船漁港の絵を添えて冥福を祈りたいと思います。



西高出身の作家・佐藤泰志原作 映画『海炭市叙景』が全国上映 大きな反響と話題に！

井田ゆき子(20 回生)

西高出身の作家・佐藤泰志(18 回生)の小説『海炭市叙景』が、昨年、函館市民の募金活動と協力によって映画化されました。函館でオールロケ撮影。加瀬亮、南果歩、小林薫らの有名俳優をはじめ、500 人以上の函館市民が出演しています。

映画の公開は、昨年 11 月に函館で始まり、東京、札幌、大阪、九州など全国 60 館で上映。しかも、東京国際映画祭の出品作に選ばれたのをはじめ、フイリピンのシネマニラ国際映画祭やフランスで行なわれたドービル・アジア映画祭など数々の映画賞を受賞する栄誉を獲得しています。この 6 月から東京で凱旋ロードショーも予定されています。

映画化や公開にあたっては、多数の西高同期生や同窓生も協力・支援活動を展開しました。映画製作実行委事務局長を務めた西堀滋樹さん、映画に出演した川守田康彦さん、北海道応援団を設立して宣伝活動に取り組んだ浅野元広さん、他にも多数の西高同窓生が募金出資者となって映画化を支えました。

佐藤泰志は西高卒業後、國學院大學に入学。芥川賞候補になること 5 度。今後の活躍が期待されています。



海炭市叙景

たが、41 歳で精神的な不調から命を絶ってしまいました。

映画化は、作家・佐藤泰志の再評価にもつながりました。原作『海炭市叙景』は小学館から文庫として復刊。7 万部(5 月現在)を超えるベストセラーとなっています。今春には『移動動物園』『黄金の服』(共に小学館文庫)、『そのみにて光輝く』『きみの鳥はうたえる』(共に河出文庫)が、全国の書店の店頭に並ぶ快事となっています。

彼の作品の魅力は、「登場人物たちが自分の置かれた環境から逃げたのではなく、苦しくともその場に留まって懸命に生き続ける。そんな人々を描いていることです」(クレイ出版代表・文弘樹さん)。佐藤泰志が心血を注いで紡いだ作品を、一人でも多くの同窓生の皆さんにも知ってほしいと思います。

回生だより

(高女 38・39 回生)

54 年続いた同期会の寂しい終結

私達 38・39 回生は、二年に一度、総会の無い年に同期会をしてきた。

70 歳を過ぎてから当番幹事(イ組からホ組まで順送りで交代)が諸事情を重荷に感じるようになってきて、その後の同期会の折に、続けるべきか止めるべきか話し合いながら妙案もないままに、もう少し続けようとの声もあり、同期会は細い糸でつながっていた。

何年かして傘寿を迎える歳も近くなり、丁度節目に当たるから、その年で終わりにしようと思いがまとまって、昭和 27 年から昨年まで、26 回 54 年続いた同期会も終わりを告げる事になった。

ホ組の白幡栄子さんに尋ねたところ、初回は浜離宮にて 6 名の参加の由で、当時を思い、今この時を思い、複雑な気持ちだった。

当日は幸いにも好天に恵まれて、車椅子で、お元気いっぱい白幡さん、5 月に大腿骨折でリハビリに励み杖をついて前向きな松木さん、仙台から駆けつけてくれたちつとも変わらない庄司さん、久しぶりの方も、同期会でいつも会っている方も、皆明るくて、すぐに昔の女学生に戻って語り合い、時間はアツとい

う間に過ぎていった。いろいろと不手際もあり、あつけなく終わってしまった感じで出席された方々は満足できたか心配だった。

いま原稿を書きながら、根無し草のように淋しい自分の自分がいることを不思議に思っている。

(小西弥生 記)

~~~~~

### (女子高 2 回生)

#### 私たちは、たった 2 回だけの卒業生

北海道庁立函館高等学校(1・41 回生)、北海道庁立函館女子高等学校(1・2 回生)、北海道函館西高等学校(1・61 回生)と当校は 106 年の歴史をもつて今も函館山の麓で続いております。ただ、函館女子高等学校が、2 回より卒業生がいなかったことは、庁立高女の方も西高の方もご存知ない方が多いと思います。

私は昭和 19 年小学校 6 年生から庁立高等女学校に受験いたしました。翌 2 年生の 8 月終戦となり、学制が変わり、〇×式で云いますと昨日まで〇だったことが急に×になり、先生方が大変だったと思います。私たちも 6・3・3 制になり中学 2 年生になり、その後 3 年間高校生として過ごしました。中学、高校と 6 年間通ったということです。ところが、またまた学制が変わり、私達の 1 年下から男女共学になり西高と名が変わりました。女性だけで学んだ学校としては私達が最後になり、



2 回より卒業生がいらない女子高校が学校の歴史の中に残ることになりました。

その私達も今年は傘寿 80 歳を迎えます。庁立高女卒業の方々はしっかりと立てて、ご立派な先輩が多いです。女子卒業生だけの集まりのときは 80 歳の私達に、貴女達が一番若いのだからと檄が飛びます。

去年 10 月 27 日の同期会には函館から 4 人の参加があり、23 人集まりました。今年は同窓会の後二次会でささやかに傘寿を祝いたいと思っています。健康第一。ころばぬ様に。毎年の集まりに顔を合わせられるように元気に生活したいと話しております。

いつまで同窓会に参加できるかわかりませんが、西高の方々のお世話

になることと思います。よろしくお願ひします。(成田慶子 記)

~~~~~

(西高 3 回生)

同期生の大半が喜寿を迎えます

私たち 3 回生は、昭和 25 年に開校したばかりの西高に、新入 1 年生として入学した。

今はない名門庁立高女の旧校舎である。中庭のある校舎である。女子の学舎が初の男子生徒を受け入れた訳である。入学式の前であったろうか、学校を見に行つた。その時、回つてみたどの教室にも、消え行く高女への思慕の情と、男子入るを許さじといった言葉が書かれていた。庁立高女生のプライドである。その校舎は今はない。

昨年はそれから 60 年、西高も開校して 60 年、私達も入学して 60 年、輝かしい甲子園出場の橋本君等の野球部、女子で東大入学の外村さん、文武両道の仲間であったのだ。

本年は、その私達も多くは喜寿を迎える。昨年は函館での同期会、草津温泉での在京同期会、そして本年も東京支部同窓会に続いて、在京の同期会と元気に集まりたいものである。(山村勉 記)

~~~~~

### (西高 4 回生)

#### 数寄屋橋で会いましょう

4 回生の同期会は「29 会」と称して、函館に本部と札幌と東京にそ



それぞれ支部があり、東京支部の名簿には約 80 名の名前が登録されています。

東京支部の会合は年 2 回、夏の暑気払いと暮れの忘年会を定例とし、会場は同期生の勤務先であった数寄屋橋の《ニュートキョー》で開催しております。会合の案内は支部の会員全員に出していますが、返信が来るのはおおむね 6 ～ 7 割です。

昨年、全員が後期高齢者となった我々は、ご多分にもれず身体の不調を訴えるものが多いのですが、それでも会合には常時 20 ～ 30 名を超える会員が参加して、病の話と昔話を肴に昼過ぎから夕方までのひと時を楽しんでおります。

幹事役としては、永年返事が貰えない会員からの返信と、「つづじヶ丘同窓会東京支部総会」への同期か



らの出席者が増えることを望んでいます。なかなか思うようにはいかないのが残念です。

(木寺 章 記)

~~~~~

(西高9回生)
毎年、夏に同期会を実施しています

毎年夏が近づくと函館からの嬉しい便りが届きます。それは同期会開催の通知で、心はもう故郷へ飛んでいつてしまいます。

9 回生は一昨年 50 周年を盛大に祝い「青春懐古ツアー」を行いました。が、昨年は趣向を変えて、函館大船町の「ホテルひろめ荘」に一泊し

て、温泉に入り浴衣に着替えての宴会、続いて別部屋で集合し、函館弁も一段と活発に飛びかい、とても孫には見せられない古希たちでした。

翌日は近くの大船遺跡で縄文時代のわが祖先たちの立ち振る舞いを思い描きながら送迎バスで居眠りして市内に戻りました。

今年の関東での旅行会は、3 月に湯河原温泉一泊と初島巡りで、孝昭天皇と初木姫の神話に会えるかな？ なーんて。(注：函館大船町 旧南茅部) (徳田紀美子 記)

~~~~~

**(西高11回生)**  
**卒業して50年、節目の年です**

隔年開催の「函館西高・東京山麓会」(代表幹事：鈴木裕之) が平成 22 年 11 月 27 日(土)東京数寄屋橋ニュートキョー本店にて開催されました。

参加者は関東周辺及び遠くは京都、大阪、浜松、そして函館からの参加を含めまして、総勢 40 数名が集まりました。出席者の中には 21 年度「国画展」で文部大臣賞(書画)を受賞した話が飛び出し、また函館元町の「旧相馬邸」を我々の先輩 8 回生の東出伸司氏が自費で買い取り修復し、5 月から一般公開に踏み切った話も紹介されました。(帰函の折には皆さんも是非見学をして下さい！)

2011 年は我々 11 回生にとりまして、母校卒業 50 年にあたります



ので、地元函館での『卒業 50 周年記念パーティー開催』の話で盛り上がりました。和気藹藹 2 次会も含めて 3 時間半があつと言う間に過ぎてしまいました。来年は『函館で会いましょう！』を合言葉に散会となりました。

(小野晋二 記)

~~~~~

(西高13回生) **関東周辺に98名の同期生がいます**

昭和 63 年 8 月に函館で第 1 回同期会開催、昨年亡き奥村君の名簿作成は全国に散らばった同期の所在確認等は並大抵の事では無かった作業と思われま。米穀通帳を便りに 400 数名の名簿を纏めて貰い 38 同期会の原点を作成して貰いました。翌年から東京での同窓会出

席者が数十名集まる様に成りました。我々13回生は現在関東近郊に98名います。

そのうち50名程が同期会又は同窓会に入れ替わり出席しています。昨年の同期会の行事は、2月・3月に観梅の会を計画も天候悪化の為中止、8月にサップロビル千葉工場見学納涼会(道南会の行事)に参加、9月に東京湾屋形船遊覧、10月に函館開催の同期会(はなびし)、11月に銀座がんにて忘年会を実施。同期会行事を開く事により、同窓会への入会者も増加させて行きたいです。昨年は同期会行事が例年に無く少なかったと振り返っています。小玉会長の元『健康活動』を合言葉に、元気で過ごせる行事も計画して行くように世話人一同頑張っています。

(三村寿雄 記)

(西高14回生)

2年に一度、同期生旅行を実施

昨年6月、東京支部の14回生は福島に集った。その計画は、札幌や函館にも瞬時に伝わり、総勢22名が、福島一泊旅行に参加した。穴原温泉に泊まり、翌日は裏磐梯から会津若松へドライブ。飲み食い語ることにエネルギー全開であった。

旅の中で次なる2年後の再会は、また旅路の宿でと皆が心に留めた。東京と函館の間、鉄路で行く心休まる宿を探す宿題は、まだ決まっ

たわけではない。一方、昨年12月に新青森まで新幹線が延び、この3月には鹿児島まで延伸された。来年2012年の14回生の旅は、岩手か宮城になるうが多く旧友の手を上げることだろう(?)

仕事もボランティアも、孫の相手も、いまや多様な社会参加である。何よりも健康が第一であり、サプリメントより新鮮な食品に価値を見出す世代である。

寄り道だが、新青森駅は、中心街から遠く離れている。函館への乗継が不便であるが、計画されている新函館駅はどうか。青森側には、「はやぶさ」効果は、北海道に伸びたらなくなるのではとの声がある。しかし、観光都市はこだても同じ悩みがあるのではないか。函館山から見る百万ドルの夜景、円高でその価値が高まったか疑問だが、異国風の歴史的景観も、世界の観光客を受け入れる魅力作りは出来ているのか等など、勝手な想い入れは、遠く故郷を離れたものの特別な感傷で膨らむ一方だ。

首都圏在住の14回生の結束はなぜか強い。佐々木・堀内幹事からのささやきは、twitter 如きの比ではない。ささやかな抵抗を、一つ。函館を核にした50万人都市(政令都市)構想はないか。観光資源と文化資源、環境資源の発掘に、地方都市のエネルギーは高まると想う。青函都市構想だってある。津軽海峡の恵みは海の幸だけとは限らない。異質

な二つの組み合わせこそ、本質であり夢がある。

(稲田一郎 記)

(西高18回生)

海炭市叙景ロケ地ツアーを企画中

18回生は、同期の故佐藤泰志原作の「海炭市叙景」の映画化にあたり関連イベントがあった際、集まった6人で話し合い、大半の同期は定年を過ぎ、少し暇になったことも追い風となり、映画のロケ地を巡るツアーを実施しようということになった。今回はその内容について記述できませんが、次回珍道中の報告ができればと思います。

「海炭市叙景」の映画の最後に寄付行為した人々の名前が出た時は自分も少しはお手伝いが出来たと感じました。

(佐藤 雅英 記)

(西高27回生)

年2回の同期会を開催しています

さる1月29日に恵比寿のスペイン料理店にて27回生の同期会を開催致しました。

卒業後3回程開催しましたが、2008年より、参加しやすいように、年2回のペースで集まっております。今回は9名の参加がありました。丁度、仕事、子育て、介護等で忙しい年代になっていますが、良いリフレッシュになっています。そのうち

一泊で近場の温泉にでも、ということも考えております。

西高在籍中は、話などしたことなくとも、同じ時間を過ごしたことで、ずっと一緒にいる仲間のように、会話が弾むのは不思議ですね。

27回生は40名強が関東在住ですが、これからも、継続して集まられたいなと思っております。まだ顔を出してない方も何かいますので、記事を見た方いらつしやいましたら、是非都合のいいときに参加下さい。

よろしくお願い致します。



(野口卓史 記)

☆☆☆☆

函館の歴史(5)

函館検定公式テキストブックから

第 1 章「歴史」

― 箱館開港 ―

1853 年 6 月 3 日、アメリカ大統領の国書を携えたアメリカ東インド艦隊司令長官ペリー提督が 4 隻を率いて浦賀沖に投錨、6 月 9 日久里浜にて幕府は国書を受け取りました。アメリカが日本に要求した事は、通商、漂流民の救助・保護、避難港の確保と石炭・薪水などの補給の 3 点でした。この背景には中国貿易に伴うアジアへの関心の高まりと北太平洋で盛んになった捕鯨業の補給基地の確保のためでした。1854 年 2 月 10 日、横浜村で日米和親条約の交渉が始まり 3 月 3 日締結、下田、箱館の 2 港が船中欠乏品の補給、漂流民の保護、救助を行うことの出来る避難港として決定され、下田は条約締結後から、箱館は翌年 3 月からの開港となりました。

2 月、ペリー一行は箱館にやってきました。松前藩では山背泊から現大手町付近の海岸線に堀を建て、婦女子は近隣の親戚に避難させ、港や町への出入り禁止、仏事の延期、葬儀の縮小、覗き見の禁止、箱館にある

神社への参詣禁止などの触れが出されました。

この時、ペリー一行は衣類や塗物、陶磁器類など日本独特の手工芸品を購入し、また 函館で停泊中に 2 名の船員が亡くなり山背泊まで葬列を行いました。

ペリー艦隊が去った後の 8 月 30 日、ロシアのプチャーチンが軍艦ディアナ号で箱館に入港、条約交渉が下田で行われましたが、交渉中の 11 月 4 日、大地震がおこりディアナ号が大破、幕府はプチャーチン一行に代わりの船を建造、この好意に対し、後日ロシアからディアナ号の大砲が寄贈され、その一部が箱館の弁天岬台場に配備された史実も残っております。

1855 年の箱館開港を控え、旧来の奉行所庁舎の使用を考えましたが、蝦夷地調査を行い箱館の防備が不十分な為、幕府に対して役所の移転と台場の整備を上申、役所は現在の五稜郭、築造は、万一の場合に備えて役人と家族、住民をも避難させる事の出来るようなものと考えました。

五稜郭の設計は、武田斐三郎成章。武田は伊予の国大洲（現愛媛県大洲市）に生まれ、緒方洪庵、佐久間象山などに蘭学、西洋兵学を学び 1854 年蝦夷地御用となり、蝦夷地の調査を行いました。五稜郭のモデルは、ヨーロッパで発達した城塞都市です。ペリー艦隊が箱館に來航した際に西洋の技術を実見し、1855

年には、箱館に入港したフランス軍艦に赴き台場や城塞について説明を受け書物も閲覧し、この体験が西洋技術による五稜郭設計にいたったと考えられますが、石垣の積み方や、中に建てられた役所（奉行所）など実際の工法は、日本で行われているものでした。7 年の歳月をかけて建設された五稜郭は、1868 年江戸幕府が崩壊したことにより、1871 年に開拓使によって取り壊されました。

19 世紀中頃の箱館は、日本を代表する北の港町として欧米に広く知られ、函館なまり「はこだえ」をそのまま活字にして紹介されています。日本初の洋式ストロブ「クワヒル」、日本初の箱館型スクーネル洋式帆船「箱館丸」、洋式城郭「五稜郭」と近代的技術の導入と都市の近代化を図り、1859 年に貿易港として開港してからは、さまざまな舶来雑貨類を輸入し、來航した西欧人は「日本のジブラルタル」と感動したほどです。新築のロシア、イギリス領事館、北前船とともに外国の軍艦、商船、捕鯨船、奉行所の役人や住民に混じってロシア人、アメリカ人、イギリス人などが闊歩し、更に中国人も雇人の名義で來航したので、まさしく異文化が身近に交流する国際的な都市だったのです。

1856 年、箱館奉行所の研究施設として諸術調所が設立され、蝦夷地の開拓と警備に必要な技術開発と人材育成を目標に蘭学、測量、航

海、造船、砲術、築城、化学などを教え門下生からは、後の郵便制度創始者前島密、鉄道制度創始者井上勝、日本銀行総裁吉原重俊、開拓使船長蛸子末次郎らの優れた人材を輩出しました。

ペリー來航時は、彼らを恐れて店を閉じ、婦女子や子供を隠した市民もたちまち慣れ親しみ、進んで外国文化を取り入れ 1866 年頃には船見町に木津幸吉が写真館を開業したなど、箱館は先端科学技術の流入口でありました。

ちなみに、箱館奉行所は 2010 年 7 月五稜郭公園内に復元オープンいたしました。

木谷勝子 記(13 回生)

個人の尊厳を大切に、その人らしさをいつまでも…

八王子 特別養護老人ホーム 偕楽園ホーム
岐阜 特別養護老人ホーム 瀬戸の里
西館 特別養護老人ホーム 戸井湖寿荘
岐阜 特別養護老人ホーム みずなみ瀬戸の里
岐阜 特別養護老人ホーム ニツ森ホーム

2008 年、岐阜の「瀬戸の里」が優良民間福祉施設として天皇陛下より表彰されました。

医療法人社団新谷会 **新谷 医院** 東京都府中市朝日町 2-30
TEL.042-361-9419
医学博士 新谷義克 (西高 1 回生)

〔平成 22 年度 つゝじヶ丘同窓会東京支部 会計報告〕

〔単位:円〕

自 平成 22 年 1 月 1 日
至 平成 22 年 12 月 31 日

収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
前期繰入金	2,084,335		
年会費(振込)	1,066,760	未払金(総会関連費)	63,183
年会費(現金)	62,000	交際費	95,000
本部補助金	30,000	旅費交通費	77,300
広告収入	10,000	会議費	24,788
雑収入	5,000	通信費	68,740
		会報印刷費	148,133
		会報送付通信費	214,140
預金利息	602	事務費	23,093
		雑 費	1,454
		HP関連費	151,200
収入 計	1,174,362	支出 計	867,031
		次期繰越金	2,391,666
合 計	3,258,697	合 計	3,258,697

〔繰越金内訳〕

(株)日本郵政 2,369,646
現金 22,020
合 計 2,391,666

以上会計事項について監査の結果適正に処理されているものと認めます。

平成 23 年 2 月 26 日

会計監査 13 回生 森 加代子

物故会員

次の方々は、昨年事務局へご連絡をいただいた物故された会員の名前です。ご冥福をお祈りいたします。

新谷三男様(4) 小川原勉様(7) 竹中裕行様(8) 松葉興様(8) 安保洋一様(11) 花田義昭様(12) 奥村浩之様(13) 立花敏雄様(14) 江原千鶴子様(14) 柿崎キミ子様(27)

《平成 23 年常任幹事会メンバー及び事務局メンバー》

常任幹事会メンバー

《会長》 新谷義克(1)、《副会長》 成田慶子(女高2) 郷内繁(4)、《顧問》 小西弥生(高女38) 小嶋俊昭(10)、《幹事長》 若林英毅(11)、《副幹事長》 佐々木太郎(14)、《会計》 堀内洋子(14)、《事務局長》 高橋順吉(17)、《幹事》 斎藤勝美(13) 竹澤秀明(17) 佐藤雅英(18) 川瀬俊吉

(19)、《書記》 高村亨(20)、《会計監査》 森加代子(13)
事務局メンバー

《総務》 三村寿雄(13) 小林多美(24) 野口卓史(27) 中川喜久則(31)、《広報》 長津俊(13) 若林郁雄(14) 井田幸子(20) 羽川和男(22) 西山和子(23) 野口孝子(24) 中野恵子(24)

会員の皆様へお願い

母校へのお返しに、同窓会活性化に同窓会年会費(2000円)納入を

わが母校・函館西高の卒業生で、関東に在住の方々は、『つゝじヶ丘同窓会東京支部』の会員です。同会では、年一回の会報発行、2年に一度の総会&懇親会開催、他校同窓会との交流などの活動を行っています。

クラス会や同期会は、残念ながらいずれ終わりを迎えますが、同窓会は後輩にバトンをつないでいくことで永久不滅です。我らが母校の活性化にもつながります。

『つゝじヶ丘同窓会東京支部』の灯を消さないために、後輩のために、そして母校への恩返しに、皆様からの積極的なご支援(年会費)を切にお願い申し上げます。尚、年会費納入には同封の振替用紙のご利用をお勧めします。記入の手間や振替料金が軽減されます。

●事務局では、事務局活動にご協力いただける会員を募集しております。ご協力いただける会員は事務局にご連絡をお願いいたします。

●事務局メールアドレスは次のとおりです。

<jimu@td-tokyo.com>

《編集後記》

函館西高の石原卓典校長より、3月に特別寄稿を頂きましたが、その後旭川南高校の校長に転任されました。後任の校長は安房(あぼう)節雄氏です。

回生だよりのページを増やし、写真を入れ、読みやすさを目指しました。ご投稿頂いた皆様に厚くお礼申し上げます。締切と紙面の制約で載せられなかった分もホームページでは簡単に取り扱えますので、ぜひ随時ご投稿をお願いします。

目白の椿山荘を総会会場として見つけたことは事務局の活動成果の一つです。この会場が好評であれば今後この場所が続けたいと事務局は考えております。

3月11日未曾有の東日本大震災が発生しました。津波、原発事故等で被災された方を親戚、お知り合いにおもちの方に、心からお見舞いを申し上げます。

事務局メンバーで、ホームページを一手に引き受けておられた22回生の羽川和男さんが4月4日突然死去されました。慎んでご冥福をお祈りいたします。(サタロ)